

たすけあい奨学制度の奨学金給付を受けた 卒業生の皆さま対象アンケートのご報告

2022年11月
一般財団法人全国大学生協連奨学財団

大学生協奨学財団では、在学中にたすけあい奨学制度(または勉学援助制度)の給付された方のうち、2021年度卒業生369名に対してアンケートを実施しました。その結果、50名に回答のご協力をいただきました。皆様から大変貴重なご意見をいただきましたので、ここにアンケートの結果をご報告いたします。

☆☆

アンケート目的とその内容

対象者:たすけあい奨学制度及び勉学援助制度の給付された方のうち
2021年度に卒業された方369名
(2021年7月に応募時記載の扶養者住所へ送付 9月末回答締切)

◆アンケートの目的◆

- ① 給付を受けた皆様が、卒業されたかどうか進路について把握する
- ② 改めて、当制度へのご意見やアドバイスをいただき、今後に生かす
- ③ 今後、寄付や賛助会員として等の形で応援していただける可能性について伺う

◆アンケートの内容◆

- ① 受給者ご本人のお名前、または扶養者のお名前在学されていた学校名
- ② 受給後の進路
- ③ 扶養者を亡くされた学生に、卒業までのアドバイスやエピソード
- ④ (学業を断念された方)扶養者を亡くされた学生へのアドバイス、学業を断念された理由
- ⑤ 当財団の援助のあり方についてご意見
- ⑥ 今後、寄付または個人賛助会員としてのご支援ご協力の可否
- ⑦ 広報物への利用可否

アンケート結果

アンケートをお送りした 369 名中、50 名の方からご回答をいただきました。

(回答率は約 13,5%)(ご本人 28 名、保護者 22 名の回答)

そのうち「広報物への利用可」とご回答いただいた 37 名の方について以下記載いたします。

※回答について、地名など個人が特定できる箇所についてのみ訂正を行っております

☆☆

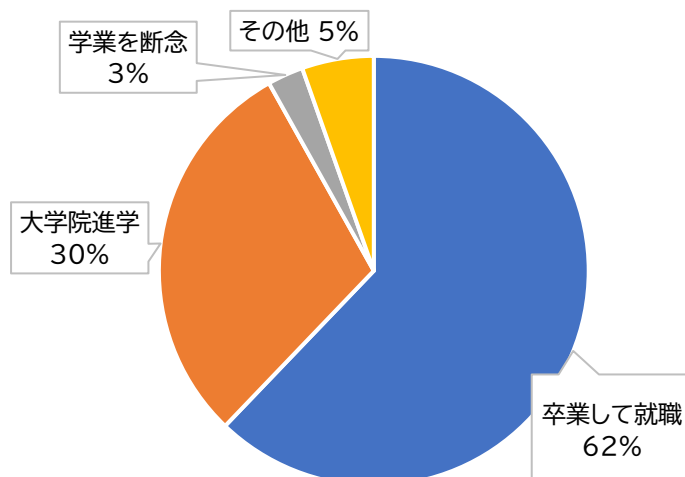
<設問> 受給後の進路について

～ ほぼ全員が学業を継続し、就職、大学院などへ進学されました!

約 9 割の方は学業を継続されており、退学された方は 1 名という結果になりました。

ほぼ全ての方が、学業を続け、就職や大学院などへ進学されております。当奨学金が学業継続の一助となったことを感じられ、大変嬉しく思います。

受給後の進路について	回答人数
卒業して就職	23
大学院進学	11
学業を断念	1
その他	2



*その他・・・看護専門学校に進学 1 名
現在休学中(後期より復学) 1 名

☆☆

<設問> (学業を断念された方より)

扶養者を亡くされた学生へのアドバイス、学業を断念された理由

学業は断念されたということですが、ご自身で学びを続けられて満足ゆく形となったというお言葉をいただきました。

◆ 留年による奨学金の停止もあり、学費、下宿代等の負担をかける事、又、早く社会に出て働きたいと思った。自力でプログラミングを学んで力をつけ、実力で就職を勝ち取り、満足しています。

<設問> 扶養者を亡くされた学生へ、卒業までのアドバイスやエピソード

皆様より貴重なアドバイスを多くいただきました。

- 「今しかできないことを大切にし、貴重な学生生活をより良いものにしてください」という励まし
- 「努力をしていればそれを認めて支援してくれる団体や組織がある」という制度活用へのアドバイス
- 「時には友人の手を借りることを忘れないでほしい」など周りの力を借りること 等

今、扶養者を亡くされ困っている学生の方にも、当制度をはじめ、ぜひ周りの力を借りていただければと思います。以下、全回答でございます。

～学生ご本人より～

<p>◆ 父が亡くなり大学に通い続けていいのか悩んでいた時に当奨学制度の存在を知りました。大変助けられたので、将来自分も両親等扶養者が亡くなられてしまった方の助けになればと思っています。</p>	<p>◆ ご家族を支える必要が出てくるなど、学生でいられない立場になる事もあるかと思えます。ですが、学生時代にしか経験できないこともあります。今しかできないことを大切に、貴重な学生生活をより良いものにしてください。</p>
<p>◆ 高専 1 年生で父親が他界し、父親の跡を継ぐ形で生活費や下の兄弟、父方の祖母の家との付き合いを構築せねばなりません。奨学金も家族の生活費に割かねばならず、母や兄弟と祖母の関係も良くない事から、仲介人として家族の仲を取り持たねばならない立場であり、学問と家庭の塩梅にとっても苦労しました。</p> <p>アドバイスとしては勉強以外も積極的に取り組み、自身の多様性のバリューを高める事が大切だということです。コロナ禍中に就職した故に思う事なのですが、家族や友人、教授の支えや異なった見方、考え方を得られた事で、当初予定していた企業(航空整備)への就職が出来なかった後も、高度な柔軟性を維持して他企業(設計)の内定を得られました。以上から万事に積極的である事が自身の能力として重要だと考えます。</p>	<p>◆ 人生には誰にでも別れの時が来ると思えます。その別れに対しては十人十色の捉え方があると思えます。私は亡くなった父の意志を引き継ぎ、残された家族を支えていくことが使命だと考えております。父もそれを一番に望んでいると思えます。また、辛い時も嬉しい時も、それを支えてくれるのは家族であり仲間であると思えます。今の環境に感謝しながら、毎日を懸命に生きていきましょう！</p> <p>◆ 自分の場合、親の病死は突然だったので大変でしたが、奨学金を頂いたことで(無理にアルバイトを増やすなどをしなくても良いと思えたことで)少し気持ちに余裕ができたと思えます。</p>
<p>◆ 大事な人を亡くした時はただ悲しみに暮れてしまうと思えますが、こういった援助の制度など、辛い自分を助けようとしてくださる人は絶対いるので、時間はかかってもいいので、どうかまた前を向いて進まれることを願っています。</p>	<p>◆ 金銭的に苦しくなることもあるかもしれませんが、努力をしていればそれを認めて支援してくれる団体や組織があるので、努力とそんな団体を探すことを頑張ってください。</p>

◆ 悲しい期間もありますが、学校生活は学校生活で楽しんで、故人をしのびつつ自分の生活も大切にできるといいなと思います。	◆ しばらく無気力で何も出来ませんでした。しかし、自分の将来に向けて努力し続けることが恩返しになるという気持ちで乗り越えました。
◆ 私は体育会のクラブにも参加していましたが、たすけあい奨学制度のおかげで引退まで学業と部活の両立することができました。	◆ 親父が無くなって、ほんとに大学に在学することが困難になったがほんとに助かった。なんとかなる、ほんとに。なんとかなる。
◆ 単位は早めにとっておいた方がいいと思います。	◆ 頑張って大学は諦めず続けてください
◆ 私は周りの人の助けがあって前を向くことができました。どれだけ悲しくて辛くて、気持ちが追いつかなくても毎日はやってきます。今まで扶養者がやってきてくれたこと全ていきなり自分でしなければならず、それとともにいままで通りの日常も送らなければならないし大変だと思います。なので今まで以上に周りの人にいっぱい頼りましょう。悲しくて自分の殻に閉じこもりたい気持ちになってしまいましたが、周りの沢山の人は自分が思っていた以上に温かく支えてくれます。	◆ 僕は生きてなくなるくらい辛くなったり毎日が灰色に感じたりする時期もありました。そんな状態でも周りにいる人に恵まれて生きることができ、大学を卒業することができました。結局、運が良かったと言えばそれで終わってしまうのですが、運は観察力というふうに言われることもあります。そのため、周りをよく見て周りに助けてもらうことができたらなんとかなるじゃないかなと思います。
◆ 扶養者が亡くなったことの心理的負担や不安は絶大なものだろうが、時には友人の手を借りることを忘れないでほしい。特に授業期間内に葬儀があると、大学の授業を1週間休まなければいけないので、まずは休んだ1週間分の遅れを友人の力を借りて取り戻すことを心掛けるとよい。	◆ 入学後2週間で入院療養中の父が亡くなりました。浪人、県外からの入学だったので高額の学費、まだ高校生の弟の事を考えると退学が頭をよぎりました。でも、学生生協からのアドバイスで様々な支援がある事を知り、書類を揃えるとか正直面倒くさいと思いながら申請しました。アルバイトもしましたが、金銭的には安心して学生生活を過ごして、念願の獣医師になれました。

～保護者の方々より～

◆ 奨学金を大学の学費の支払いの一部にあてる事が出来て大変ありがたかったです。勉学により一層励み、留年しないように、また国家試験に一回で合格するように努力いたしました。多くの方々の援助に支えられ、現在の自分がある事を忘れずに、感謝の気持ちを胸に、日々精進していきたいと思えます。ありがとうございました。	◆ 親が亡くなってしまった時は一瞬目の前が真っ暗になり退学、もしくは大学進学をあきらめる道が頭に浮かぶかもしれませんが、このような有難い制度があるので利用すべきです。学びたい気持ちがあるならばなおさら。そしていつの日か応援する側になって同じような環境の学生達の手助けしてあげられるといいですね。
◆ とても大変なことですが、是非卒業してほしいと、心から思います。	◆ 自分の将来に向けて真剣に考えて頑張ってください。

◆入学 3 日後に父親が急死し、奨学金は受けていたものの生活の不安もありました。援助いただいた給付金は定期代や教科書等にに使わせていただき、本当に感謝しています。	◆親は自分がいなくなったことで、自分のせいで、子どもが夢をあきらめなくてはならなくなることが一番せつないと思います。進学をあきらめないでください。
◆亡くされた直後は、色々な不安と悲しみでいっぱいだと思います。悲しみが癒えるまで、時間がかかりますが、目の前のことを一つ一つ丁寧にこなし、あまり過去や将来のことを考えすぎないことで、いつのまにか時間が経ち、先に進んでいます。	◆いつも感謝の気持ちを忘れずに学業と部活をしっかりと両立でき、私にお金の負担をかけずに卒業してくれました!!親として本当に有り難く、娘には感謝しています!!
◆父親が亡くなったのは娘が大学へ入学して直ぐでした。私自身も人工股関節左右人工膝で手術を繰り返し、そうなる仕事が限られてきて、大変なときを乗り越えています。親のせいで大学卒業できなかったと言われてたくないの、あらゆる制度を利用させてもらいました。	◆学業を続けることで片親だからこそ新たに見えてくるものがあり、人として大きくなれると思います。諦めないで頑張ってください。悔しさ、哀しさをバネにして頑張ってください、応援してくれる人はたくさんいます。
◆しっかりと勉強し、友人をたくさん作り、楽しい学生生活になるよう頑張ってください。	◆卒業までの単位が危うく、声かけ、サポートで何とか卒業できました。当時は父が亡くなったことと、卒業が重くのしかかり、親子で辛い時期でした。父がいなくなった事を、その時よりも今の方が実感するようです。
◆夫(本人の父)が大学院の1年の時に亡くなった。卒業までの1年間、アルバイトと奨学金で生活した。母としては、最小限の仕送りで助かった。	

☆☆

<設問> 当財団の援助のあり方についてご意見

たくさんのお礼の言葉と共に、当制度の改善点についてもご意見をいただきました。

当制度への御礼の言葉

- ◆奨学金を頂けて、大変助かりましたし、支えて頂いている実感が持てて、力になりました。
- ◆経済的に不安が大きかったため、とても助かりました。
- ◆素晴らしい試みだと思います。
- ◆学が事を断念しないよう応援していただけるなんてとても有難いです。我が家は妹もいたので、当時高校生でしたがこういった制度のおかげであきらめずに大学進学できてありがたかったです。金額に関しては大学によって授業料免除だったり、一部免除だったりしましたが我が家はなんとか受給金額で二人とも授業料に当てたり、教科書代等に活用させて頂きました。
- ◆この制度に救われました。今後も継続して行ってほしいです。

- ◆突然、夫を病気で亡くし、大きな喪失感と不安な気持ちの中、貴財団様からのお手紙を受け取り、とても嬉しく思いました。ありがとうございました。これからもどうぞ、在学中に扶養者を亡くされた学生さん達への支援を、お願いします。

審査について

- ◆審査の流れはとてもスムーズで良いと思います。
- ◆このような援助は大変助かりますし、審査も迅速であり、給付まで速かったと思います。不安でいっぱいだった頃に支えてもらったサポートでした。
- ◆とても助かりましたので、今後も継続して欲しいです。書類作成や審査などは、それほど面倒ではなかったので、忙しい身としてはありがたかったです。
- ◆財団の援助はとても役に立ち、一度問い合わせの電話をした時も、とても親身になって親切に回答してもらいました、ありがとうございました。
- ◆審査が多く面倒だなと思ったことはあったが、正しい方法だと思う。
- ◆思いもかけない支援だったので助かりました。個人的には審査の流れ、金額ともに妥当だと思います。

改善点

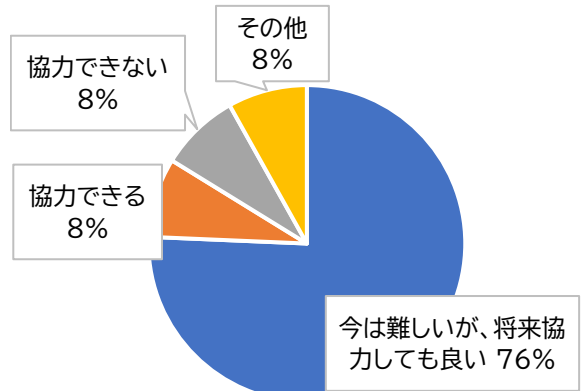
- ◆もっと金額を増やしたほうが良いかと思います。
- ◆主人を亡くした当時、娘(大学3年)、息子(大学1年)娘は留学中でしたが帰国後、自宅通学という事と3年生なのでポイントが足りないと言われ、娘は給付されませんでした。とても残念でした。今後できるだけ多くの学生に給付していただける事を願います。
 - ▶当奨学制度は寄付金・賛助会費によって成り立っておりますので、金額面でより充実させるよう努めてまいります。充実させることに伴い、将来的には奨学制度への改正へとつなげたいと思います。(ご指摘いただきました、1人あたりの給付金額を上げる、給付対象となる学生を多く増やす等)
- ◆自分の場合片親だけでしたが、両親を同時に亡くされた方などにはさらに援助ができるの良いのではないかと感じました。(もし既にそのような制度があるようでしたら素晴らしいと思います)
 - ▶現在の規則では、ご両親ともに応募資格がある期間に亡くされた学生につきまして規則の改正を行いました。審査を行い、ご両親2名とも給付対象となった場合は、ご両親2名分の金額(10万円一括給付のところを20万円給付)を受給できるような規則となっております。
- ◆扶養者が亡くなった学生への支援、本当に有り難いと思う。奨学金の存在を学生に伝え、受給申請につなげてほしい。
 - ▶大学生協窓口でのご案内だったところ、昨年より大学の奨学金ご担当者へ案内送付し、大学支援課等でもご案内を行っていただく様お願いをしております。また、同時にTwitterも開始しました。しかしながら、まだ当制度の周知度は高いとは言えませんので、今後、少しでも扶養者を亡くされた学生の目に留まる機会を増やしてまいります。



<設問> 今後、寄付または個人賛助会員としてのご支援ご協力の可否

～ 約 8 割の方から今後寄付・個人賛助会員としてのご協力へ前向きなご回答をいただきました

受給後の進路について	回答人数
今は難しいが、将来協力しても良い	28
協力できる	3
協力できない	3
その他	3



*その他・・・今は非課税世帯で寄付は難しい状況です。1名
 わからない、断言できないがしたい。1名
 今はまだ金銭的に余裕がないのでわからない。1名

寄付または個人賛助会員(毎年 1 口 2,000 円からの寄付を行う会員システム)としてご協力いただくことへ前向きなご回答を下さりありがとうございます。当制度の奨学金を受給し、頑張って学業を続けられた皆様にご協力いただけることは、「たすけあい」の意味でも、扶養者を亡くされた後輩にとって大きな力になっていただけると思います。



以上が 2021 年度卒業生(その保護者)の皆さまからいただきましたアンケート結果でございます。(こちらの内容は大学生協奨学財団 HP 内ページ「[卒業生からのメッセージ](#)」にも掲載しております)

あらためまして卒業生とその保護者の皆さまには、アンケート回答にご協力をいただき、誠にありがとうございました。今後の当制度のあり方などへ参考にさせていただきます。

問い合わせ先
 大学生協奨学財団事務局 堀池・妹尾・広瀬
 Mail : zaidan.jimu@univ.coop
 電話 03-5307-1126(平日 10:00～16:00)